

雨の強さと降り方

雨の降り具合は、洪水の危険度の目安になります。降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を知っておきましょう。

1 時間に 10mm～20mm やや強い雨		ザーザーと降る 地面からの跳ね返りで 足元が濡れる 雨音で話し声が聞き取れない
1 時間に 20mm～30mm 強い雨		どしゃ降り 傘をさしていてもぬれる 寝ている人の半数ぐらいは 雨に気がつく
1 時間に 30mm～50mm 激しい雨		バケツをひっくり返した ように降る 道路が川のようになる
1 時間に 50mm～80mm 非常に激しい雨		滝のように降る 傘は全く役に立たなくなる 水しぶきで視界が悪くなり 車の運転は危険
1 時間に 80mm～ 猛烈な雨		息苦しくなるような圧迫感 がある。恐怖を感じる 雨による大規模災害発生の 危険がある

平成23年
12号台風で
87.5mmを記録

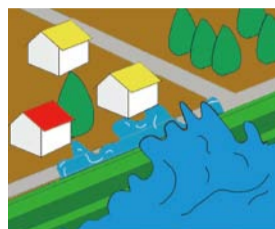
外水はん濫・内水はん濫

はん濫とは、雨や川によって、街や農地に水があふれることをいいます。はん濫には「外水はん濫」と「内水はん濫」という言葉があります。

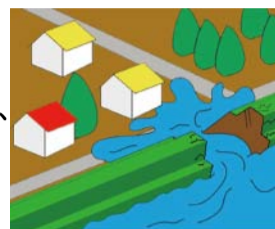
外水はん濫とは

川の水が堤防から流れこんでくる洪水のことをいいます。大量の高速はん濫流が一気に市街地に流入し短時間で住宅等の浸水被害が起こります。しかも、流れ込んでくるのは泥水のため、洪水が去ったあとも家には土砂が堆積してしまうなど、復旧が大変困難な状況になります。

増水した河川の
水が堤防の
高さを超えて
街中にあふれ
出す。



流れの速い川
の水流により
堤防が決壊し、
街中にあふれ
出します。



内水はん濫とは

街に降った雨が雨水処理能力を超えて、側溝などに流れずそのまま溜まる場合や、川に排水することが出来ない水が溢れることをいいます。この場合はマンホールや側溝などから逆流してきてあふれます。

街中の排水が
間に合わず地
下水路や側溝
などから水が
あふれ出す。



本流へ流れ込
めず、支川に
逆流した水に
より、街中へ
とあふれ出す。



家庭で出来る浸水対策

家庭にあるものを使用して浸水防止を行いましょう。



ゴミ袋を2重にして中
に半分程度の水を入れ、
袋の口をしぼると「簡易
水のう」ができます。



非常時には、多めに作り、
水が侵入してくると思われ
る場所に置きましょう。

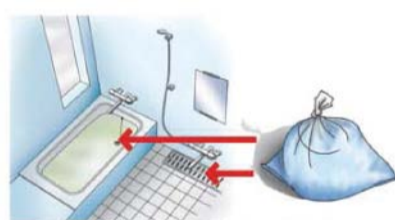


ポリタンクやプランター
などを並べてビニールシー
トで包むと浸水防止策の
1つとなります。



長い板を止水板として使用
しましょう。立て掛けて、
簡易水のうやブロックなどで
固定し水の浸入を防ぎます。

排水口からの逆流防止に「簡易水のう」を利用しましょう。



風呂場



トイレ



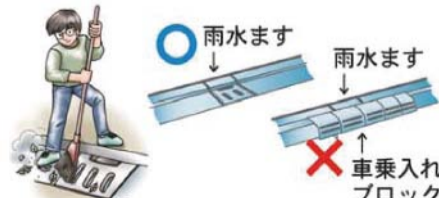
洗濯機

その他、キッチンや
洗面台などの水回り箇
所にも置くようにしま
しょう。

日頃からの備え



地下施設など、浸水の危険が
高い場所には、日頃から浸水防
止の準備をしておきましょう。
土のう、止水板、排水設備
(ポンプなど)の整備・点検を
心がけましょう。



道路沿いの「側溝」や「雨水
ます」の上に物を置かないで
ください。
側溝や雨水ますが詰まると、
道路冠水や浸水の原因になり
ます。日頃からの清掃にご協
力をお願いします。

